

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-098475
(43)Date of publication of application : 08.04.1997

(51)Int. Cl. H04Q 7/34
608G 1/127

(21)Application number : 07-252358 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
(22)Date of filing : 29.09.1995 (72)Inventor : TSUCHIYA MANABU
MIYANO AKIFUMI

(54) PORTABLE TELEPHONE SET WITH GPS RECEIVER

(57)Abstract:
PROBLEM TO BE SOLVED: To transmit an accurate place by combining a GPS(global positioning system) receiver for recognizing the absolute position of a present equipment, a Fax signal conversion means or a voice conversion means and a conventional portable telephone set.

SOLUTION: By the GPS receiver 3, the transmission radio waves of a GPS satellite are received by a built-in antenna and the present position of the present equipment is calculated. Then, by the Fax signal conversion means 2 constituted of a memory such as a RAM(random access memory) or the like and a software for performing conversion to Fax signals, present equipment position information calculated by the GPS receiver 3 is converted to the Fax signals transmittable through a telephone line. Then, the converted Fax signals are transmitted from this portable telephone set 1 by radio. Such Fax signals transmitted from the portable telephone set 1 by radio are received through a base station by the Fax equipment of an opposite party through the telephone line and the document of prescribed contents is outputted from the Fax equipment.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 17.11.1999
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision]

[of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2000 Japanese Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A) (11) 特許出願公開番号

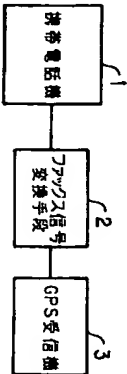
特開平 9-98475

(43) 公開日 平成9年(1997)4月8日

(51) Int. Cl. ⁸	国際記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 Q	7/34		H 0 4 B	7/26 1 0 6 A
G 0 8 G	L/127		G 0 8 G	L/127 Z
審査請求 未請求 請求項の数 4				O L (全4頁)

(21) 出願番号	特願平7-252358	(71) 出願人	000005821 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
(22) 出願日	平成7年(1995)9月29日	(72) 発明者	土 屋 学 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内
		(72) 発明者	宮 野 隆 史 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内
		(74) 代理人	弁護士 盛合 正博

- (54) 【発明の名称】 GPS受信機付き携帯電話機
- (57) 【要約】
- 【目的】 GPS (グローバル・ポジショニング・システム) 受信機と携帯電話機を組み合わせ、通話者の位置を同時に連絡することができるようにする。
- 【構成】 GPS受信機3から算出された位置情報を、フリップス信号変換手段2でフリップス信号に変換し、携帯電話機1から送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 GPS衛星の送信電波から自機的位置を算出するGPS受信機と、GPS受信機によって算出された自機位置をフリップス信号に変換するフリップス信号変換手段と、無線基地局を介して電話回線を通じて通信を行なう携帯電話機とを備え、GPS受信機で得られた自機位置をフリップス信号に変換して送信することを特徴とするGPS受信機付き携帯電話機。

【請求項2】 地図データと、地図データから地図を表示する地図表示制御手段とを備え、自機位置の明示された表示地図をフリップス信号に変換して送信することを特徴とする請求項1記載のGPS受信機付き携帯電話機。

【請求項3】 複数の内容が記憶されているコメントデータと、コメント内容を選択するセレクタとを備え、コメント内容を選択したフリップス信号に変換して送信することを特徴とする請求項1または2記載のGPS受信機付き携帯電話機。

【請求項4】 GPS衛星の送信電波から自機位置を算出するGPS受信機と、GPS受信機によって算出された自機位置を音圧に変換する音圧変換手段とを備え、自機位置を音圧によって連絡することを特徴とするGPS受信機付き携帯電話機。

【発明の詳細な説明】

【産業上の利用分野】 本発明は、正確な送信位置を送信できる携帯電話機に関するものである。

【従来の技術】 従来の携帯電話機は、内蔵されているアンテナにより無線基地局との間で電波を送受信し、基地局以降は有線電話機と同様に電話回線を通じて連絡を行なうのである。

【0003】 本発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来の携帯電話機では、警察署や消防署への緊急な連絡を行なう場合、現在自分がいる場所の地名が分からない場合があり、正確な送信場所を送信できない問題があった。

【0004】 本発明は、このような従来の問題を解決するものであり、正確な場所を送信できる改良した携帯電話機を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、上記目的を達成するために、自機の絶対位置を知るためのGPS受信機とフリップス信号変換手段または音圧変換手段と従来の携帯電話機とを組み合わせたものである。

【0006】

【作用】 したがって、本発明によれば、GPS受信機によって算出された自機位置をフリップス信号または音圧信号として送信することができ、連絡を受けた側で直ら

に送信位置を把握することができる。

【0007】

【実施例】

(実施例1) 図1は、本発明の第1の実施例の構成を示すものである。図1において、1は無線基地局を通じて通常の電話回線での通信が可能な携帯電話機である。2はフリップス信号変換手段であり、3はGPS受信機である。

【0008】 次に上記第1の実施例の動作について説明する。上記第1の実施例において、まず、GPS受信機3により、GPS衛星の送信電波を受信されたアンテナで受信し、自機の現在位置を算出する。次に、RAM (ランダム・アクセス・メモリ) 等のメモリおよびフリップス信号に変換するソフトで構成されているフリップス信号変換手段2によって、GPS受信機3により算出した自機位置情報を、電話回線を通じて送信できるフリップス信号に変換する。たとえば、GPS受信機3が自機位置として北緯35度30分44.7秒、東経139度33分55.3秒を算出した場合、フリップス信号変換手段2で図2のような文面になるように変換する。携帯電話機1から無線で送信されたこのようなフリップス信号は、基地局を介して電話回線を通じて相手方のフリップス装置で受信され、フリップス装置から図2のような文面の文面が出力される。

【0009】 このように、上記第1の実施例によれば、GPS受信機3が算出した自機位置をフリップス信号に変換して送信するため、携帯電話機1から正確な送信位置を送信することができるという利点を有する。例えば、警察署、消防署への緊急な連絡を携帯電話機1を使用して行なう場合、送信者が周辺の地理に不案内であっても、正確な位置を伝えることができる。また、本署から連絡を受けたパトカーや消防車、救急車が、位置入力可能なGPS受信機付きナビゲーション装置を搭載している場合には、その位置を直ちに画面上に表示できるといった効果を有する。

【0010】 (実施例2) 図3は本発明の第2の実施例の構成を示すものである。図3において、図1と同一符号、同一名称のものは同じ構成、動作を有するものである。説明を省略する。4はCD-ROMや磁気メモリ等の記憶手段に、道路、背景、施設名称、交差点名称等が格納されているデジタルの地図データ、5は地図データ4から地図を展開表示するソフトおよびRAM等のメモリから構成されている表示制御手段である。

【0011】 上記第2の実施例において、まず、GPS受信機3で算出した自機位置から、表示制御手段5によって周辺の地図を地図データ4から読み出し、表示制御手段5によって所望のメモリに展開する。さらに、表示制御手段5によって展開された地図上に自機位置を×印等の記号で明示する。表示制御手段5によって、自機位置を明示

された周辺地図を、フリップ信号交換手段2によってフリップ信号に変換する。例えば、GPS受信機3が自機位置として北緯35度30分44.7秒、東経139度33分55.3秒を算出した場合、表示制御手段5によって算出した位置周辺の地図データ4から読み出し、自機位置とともに内蔵メモリに表示する。図4はのように表示された地図であり、6は交差点、7は直線、8は自機位置を示し、このような地図がフリップ信号交換手段2によりフリップ信号に変換され、携帯電話機1から基地局へ無線で送信される。

【0012】このように、上記第2の実施例によれば、GPS受信機3によって算出された自機位置が、表示制御手段5によって地図上に表示されるため、携帯電話機1から正確な送信位置を地図上の地点として接続することができるという利点を有する。

【0013】(実施例3) 図5は本発明の第3の実施例の構成を示すものである。図5において、図1と同一符号、同一名称のものは同じ構成を有するものであり説明を省略する。9はCD-ROMや磁気メモリ等の記憶手段に、「かじ」「しこ」「はんざい」「びようき」等の送着者の状況を表示する文字情報が納められているコメントデータ、10はコメントデータ9からどの文字情報にするかを選択するセクタである。

【0014】上記第3の実施例において、まず、コメントデータ9に用意されている複数の文字情報の中から、どの文字情報を送信するかをセクタ10によって選択する。選択された文字情報と、GPS受信機3で算出した自機位置とを併せて、フリップ信号交換手段2によってフリップ信号に変換する。例えば、携帯電話機1で火事がおきていることを音声以外で連絡したい場合、セクタ10によって、文字情報「かじ」を選択すれば、送信した位置とともに、選択した文字情報をフリップ信号交換手段2で図6のような文面になるように変換して送信する。

【0015】このように、上記第3の実施例によれば、GPS受信機3によって算出された自機位置とともに、コメントデータ9の文字情報がフリップ信号の文面に挿入されるので、連絡者の状況を音声以外で連絡できるという利点を有する。また、耳の不自由な方々や、音声を発することのできない状況下での緊急連絡が容易にできるという効果を有する。なお、本実施例は、上記第2の実施例と組み合わせ実施することができ。

【0016】(実施例4) 図7は本発明の第4の実施例の構成を示すものである。図7において、図1と同一符号、同一名称のものは同じ構成、動作を有するものであり説明を省略する。11は音声交換手段である。

【0017】上記第4の実施例において、RAM(ランダム・アクセス・メモリ)等のメモリおよびメモリに記憶されたテキスト情報を音声に変換するソフトで構成されている音声交換手段11によって、GPS受信機3に

より算出した自機位置情報を、電話回線を通じて送信できる通常の音声信号に変換する。変換した音声信号を、携帯電話機1から送信する。例えば、GPS受信機3が自機位置として北緯35度30分44.7秒、東経139度33分55.3秒を算出した場合、音声交換手段11で「わたしたちここにあります。ほくい35度30分44.7秒、びようき」という内容を音声信号に変換する。

【0018】このように、上記第4の実施例によれば、GPS受信機3によって算出された自機位置が音声に変換されるので、連絡者の音声以外で連絡できるという利点を有する。耳の不自由な方々や、音声を発することのできない状況下での緊急連絡が容易にできるという効果を有する。なお、本実施例は、上記第2または第3の実施例と組み合わせ実行することができる。を。

【0019】(説明の効果) 本発明は、上記実施例より明らかなように、携帯電話機の絶対位置を送信できるという効果を有する。さらに、地図データと表示手段を備えることによって、地図上に自機位置を明示した内容を送信できる利点を有する。さらに、連絡者の状況を表示する文字情報をコメントデータとして持つことや、テキスト情報を音声に変換する手段によって、耳の不自由な方々や、音声を発することのできない状況下での緊急連絡が容易にできるという利点を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例におけるGPS受信機付き携帯電話機の構成を示すブロック図

【図2】本発明の第1の実施例におけるフリップ信号を示す模式図

【図3】本発明の第2の実施例におけるGPS受信機付き携帯電話機の構成を示すブロック図

【図4】本発明の第2の実施例における表示例を示す模式図

【図5】本発明の第3の実施例におけるGPS受信機付き携帯電話機の構成を示すブロック図

【図6】本発明の第3の実施例におけるフリップ信号を示す模式図

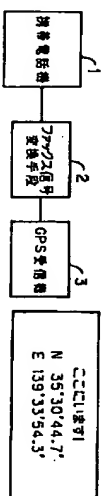
【図7】本発明の第4の実施例におけるGPS受信機付き携帯電話機の構成を示すブロック図

【符号の説明】

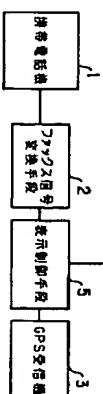
- 1 携帯電話機
- 2 フリップ信号交換手段
- 3 GPS受信機
- 4 地図データ
- 5 表示制御手段
- 6 交差点
- 7 施設名
- 8 自機位置
- 9 コメントデータ

10 セクタ

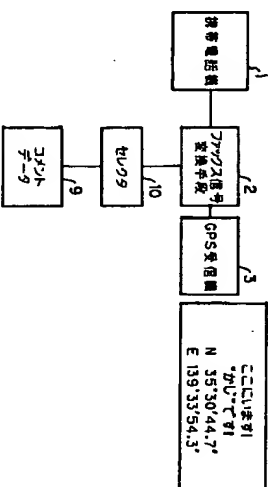
11 音声交換手段



【図1】

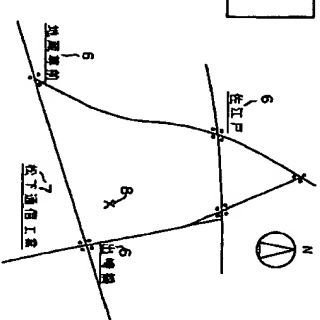


【図2】



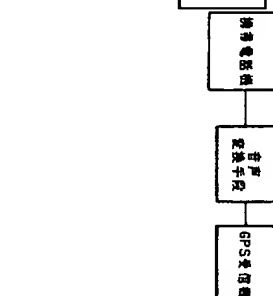
【図3】

【図4】

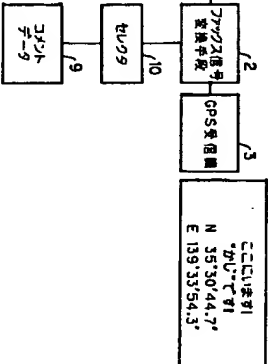


【図4】

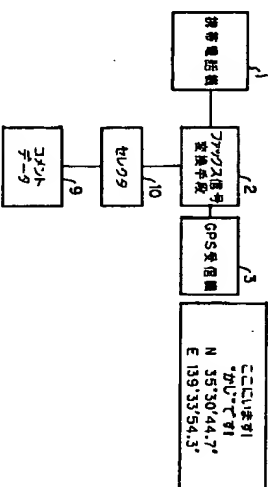
【図5】



【図5】



【図6】



【図7】